

日本学術会議 第二部主催 冬の公開シンポジウム
「生命を守る医と食の安心、安全のために」

1. 主 催 日本学術会議第二部
2. 後 援 日本医歯薬アカデミー
3. 日 時 平成21年2月5日（木） 13：00～17：30
4. 場 所 日本学術会議 講堂
（地下鉄千代田線「乃木坂」駅 青山霊園方面出口 徒歩1分）

5. 次 第
〔開催趣旨〕

当シンポジウムでは、高度に発展を遂げた現代の日本社会が抱える種々の問題の内、生命を守るための基本的な問題、すなわち医の問題と食の問題に焦点を当てた。現在の問題点を浮き彫りにすると同時に、安心・安全なシステム構築への提言や努力について、各界の専門家による解説が行われる。

〔プログラム〕

挨拶 （13時00分から13時15分まで）

日本学術会議会長 金澤 一郎

組織委員長 野本 明男（東京大学大学院医学系研究科教授、
日本学術会議会員）

第1部 プロローグ

（13時15分から13時45分まで）

座長 菅村和夫（東北大学大学院医学系研究科教授、日本学術会議会員）

講演1）いのちを守る遺伝子

本庶 佑（内閣府総合科学技術会議常任議員、日本学術会議会員）

第2部 医の安心、安全のために

（13時45分から16時00分まで、15分休憩含む）

座長 野本明男（東京大学大学院医学系研究科教授、日本学術会議会員）

講演 2) 医療の危機：安心できるシステムへの課題

永井良三（東京大学大学院医学系研究科教授、日本学術会議連携会員）

講演 3) 新たな感染症発生への対応

岡部信彦（国立感染症研究所感染症情報センター長、
日本学術会議連携会員）

座長 南 裕子（近大姫路大学学長、日本学術会議会員）

講演 4) 産科医療の安心、安全の保証—看護学からの提案—

山本あい子（地域ケア開発研究所、日本学術会議連携会員）

座長 橋田 充（京都大学大学院薬学研究科教授、日本学術会議会員）

講演 5) 薬の安心・安全と薬学

望月眞弓（慶應義塾大学薬学部教授、日本学術会議連携会員）

第 3 部 食の安心、安全のために

（16 時 00 分から 17 時 00 分まで）

座長 新山陽子（京都大学大学院農学研究科教授、日本学術会議連携会員）

講演 6) 変わる国際環境と日本の食料・農業

生源寺眞一（東京大学大学院農学生命科学研究科長・教授、
日本学術会議会員）

座長 春日文子（国立医薬品食品衛生研究所室長、日本学術会議会員）

講演 7) 化学物質の次世代・子どもへの健康影響—食の安全を考慮して

岸 玲子（北海道大学大学院医学研究科教授、日本学術会議会員）

第 4 部 エピローグ

（17 時 00 分から 17 時 30 分まで）

座長 水田祥代（九州大学理事・副学長、日本学術会議会員）

講演 8) 生命を守る医と食の安心、安全を構築するために

五十嵐 隆（東京大学大学院医学系研究科教授、日本学術会議会員）

終わりの挨拶 日本学術会議第二部部長 浅島 誠（東京大学副学長・理事）

（講演時間、1人30分質疑討論を含む）

6. その他

事前の申込みは必要ありません。当日、先着順で定員300名です。